



応援します、生涯学習 — ふえる知識と仲間の輪

令和3年4月1日発行

あい風通信

48号

(学びのスタンプ通算 55号)

「いしかり市民カレッジへの思い」



いしかり市民カレッジ学長 加藤 龍 幸

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により多くの催しが中止となり、市民カレッジにおいても約半年間にわたり講座の開催を中止いたしました。一方で、互いに教え合い学び合うことが、いかに私たちを心豊かにし、勇気づけていたかを実感させられた1年でした。このような困難な状況の中で、市民の皆さんの学習意欲に応えるため、感染対策等を徹底したうえで9月には講座を再開することができました。

こうしたなか、市民カレッジの活動の拠点である石狩市公民館が文部科学省の「優良公民館表彰」を受賞しました。長年にわたり、まちづくりに市民の主体性が発揮されている市民カレッジの活動と熱心に学ぶカレッジ生の皆さんの姿が評価されたものだと思っております。今後も多くの皆さんに学びを通して生きがいを提供してまいりますので、引き続きお力添えをいただけますようお願い申し上げます。

令和3年度主催講座にご期待ください！～現地見学も充実～

いよいよ今月から令和3年度の主催講座がスタートします。既報の通り新型コロナウイルス感染拡大により昨年度に実施が見送られた講座を含め「いしかり学」「教養・文化」など幅広い分野から年間13講座(27回)を開催。これまで同様に各講座とも出来る限り複数回の講義や現地見学を設けるなど深く掘り下げて学べるよう配慮しました。どうぞご期待下さい。なお、感染防止対策の観点から座学の参加者数は昨年同様に30名、現地見学25名となりますので何とぞご理解とご協力をお願い致します。

4月～6月の講座を紹介します

講座1「流通最前線の今を知る～最近の食品の消費・流通動向と企業戦略～」

第1回 食品流通業の現状と課題

講師 流通コンサルタント 阿部 整治

日時 4月22日(木) 10:30～12:00 場所 石狩市花川北コミュニティセンター

第2回 環境変化に対応した流通戦略とその取り組み

講師 元コープさっぽろ執行役員店舗本部長 横澤 秀明

日時 5月6日(木) 10:30～12:00 場所 石狩市花川北コミュニティセンター

第3回 現地視察 大手小売業の加工・物流機能の現場を見る～コープさっぽろ江別食品工場ほか

日時 5月13日(木) 9:00～15:00 集合場所 石狩市公民館

◇近年、食品流通業界は高齢化社会と人口減少による市場規模の縮小の中で「同業態間競争と異業態間競争」「食品の安心安全に向けた取り組み」など生き残りに向けた熾烈な戦いが繰り広げられてきました。この講座では食品流通業が抱える現状と課題について学び流通環境変化に対応し食品小売業はどのような戦略で臨んでいるのか、流通最前線の現場を知ることによって生活に直結する「食品の消費・流通の今」を考えます。

講座2「私たちの身近な野鳥との共生を考える～長きにわたる野鳥観察を通じて見えること～」

第1回 石狩管内における野鳥観察から見えること

講師 日本野鳥の会札幌支部長 猿子 正彦

日時 5月20日(木) 10:30～12:00 場所 石狩市花川北コミュニティセンター

第2回 身近なカラスの生態をもっと知ろう

講師 NPO法人札幌カラス研究会代表理事 中村 眞樹子

日時 5月27日(木) 10:30～12:00 場所 石狩市花川北コミュニティセンター

第3回 野外学習 石狩の野鳥を観察しよう～はまなすの丘公園

ガイド 日本野鳥の会札幌支部長 猿子 正彦

日時 6月3日(木) 9:00～12:00 集合場所 石狩市公民館

◇石狩管内で生息する野鳥の魅力や生態を学び、自然界で今起きている様々な変化や人間社会との関わりを知ることから自然保護や人との共生について考え、最も身近なカラスとの付き合い方についても学びます。石狩川が形作った砂嘴状地形にある日本でも稀な海浜植物と野鳥の宝庫「はまなすの丘公園」で野鳥観察会を行います。

市民カレッジデータ

(3月24日現在)

○登録者～150人

○連携団体～104団体



ロゴ制作者

丸山英里子さん

【講座3次頁へ】

講座3「石狩市に残る歴史遺産」

第1回 北海道遺産の濃昼山道と増毛山道

講師 増毛山道保存会代表 渡邊 千秋

日時 6月15日(火) 10:30～12:00 石狩市花川北コミュニティセンター

第2回 ユーカラの舞台となった浜益

講師 北海道教育大学札幌校教授 百瀬 響

日時 6月22日(火) 10:30～12:00 石狩市花川北コミュニティセンター

◇「濃昼山道、増毛山道」は江戸時代末に北方警備のために幕府が場所請負人に道路開削を命じ開通したのですが、国道が整備されたため使われずクマザサに埋もれていました。この山道の存在を後世に伝えようと「濃昼山道保存会」や「増毛山道の会」、「こがね山岳会」の力で復元されました。アイヌ民族は文字を持たず物語を口承によって伝えてきました。この叙事詩をユーカラといい、金田一京介博士は浜益をユーカラ発祥の地とし、黄金山、摺鉢山などがその舞台であるといわれています。「濃昼山道、増毛山道」は北海道遺産に、黄金山は国指定の名勝「ピリカノカ」になっています。浜益に残る2つの歴史的遺産について学びます。



令和3年度「まちの先生企画講座」～4講座開催します

令和3年度は、手作りジャム作り、ダッチオーブンで野外料理、家庭菜園の土壌診断、北海道開拓先達者の点描の4講座を開催します。多くのみなさまの受講をお待ちしています。

講座1 「イチゴを摘んで手作りジャム作り」 6/30(水)、9/9(木) 講師 萬年 静代

講座2 「ダッチオーブンで作る野外料理」 7/13、7/20、7/27〔全回火〕 講師 新津 賢二

講座3 「家庭菜園の土の健康診断をしてみよう」 9/3、9/10、9/17、9/24〔全回金〕 講師 松中 照夫

講座4 「銅像を通じて北海道開拓の先達者を点描する」 1/20、1/27、2/3〔全回木〕 講師 武石 詔吾

講座1「イチゴを摘んで手作りジャム作り」 講師 萬年 静代 場所 石狩市花川北コミュニティセンター

第1回 「旬のイチゴで手作りジャム作り」 6/30(水) 9:00～13:00

第2回 「木苺(ブラックベリー)などの手作りジャム」 9/9(木) 10:00～13:00

◇1回目は講師の畑で銘々が摘んだイチゴで、2回目は用意されたブラックベリーと青トマト等で手作りジャムを作ります。作ったジャムは、お昼に試食します(軽食あり)。

第22回修了証授与式を行いました～11名が受証～

3月11日(木)12時30分より石狩市役所ロビーで第22回修了証授与式を行いました。受証者11名中4名が出席しました。

はじめに林一元運営委員長が開式の挨拶を述べ、次に加藤龍幸学長(市長)が4人の受証者お1人おひとりに修了証を手渡しました。

加藤学長は挨拶の中で「学ぶ意欲を持ち続け、所定の回数を達成されたことに敬意を表します」と讃えるとともに「今後とも強い意欲を持って学んで欲しい」とエールを送りました。

受証者を代表して垂水秀一さんが感謝の言葉とともに「日頃の学びが実を結び受証できました。これからも次のステージに向けて頑張っていきたい」と抱負を述べ授与式を閉じました。

その後記念撮影を行い、すべて終了しました。例年行っている受証者と関係者による懇談会は、コロナ感染防止のため取りやめました。



《受証者氏名》 (敬称略)

◇シルバー(60S) 田湯 敏明 千喜良 誠

◇ゴールド(90S) 池野 功示 高橋 憲子

田湯 敏明 千喜良 誠 山口幸次郎

◇スーパーゴールド(150S) 垂水 秀一 山内ヒメ子

◇ダイヤモンド(200S) 立田 節子

◇スーパーダイヤモンド(300S) 三上 富睦

◇マスター500(500S) 熊谷二三男 安井 澄子

受講者の声

講座終了時に受講者の皆さんからいただいた感想・ご意見を要約して紹介しています

講座 14「考えよう石狩市のエネルギー」

「明解でわかりやすいお話でよかった。エネルギー問題を考えるきっかけになりました」
 「勉強になりました。再生エネルギーで家庭の電気がまかなえるバッテリーの開発を切に願います」
 「風車による低周波被害・景観等を市民の一人として考えたい」

まちの先生企画講座4「プロが考える人生の終活」

「明快に説明され、良かったです。必ず、何らかの形で手続きする必要がある問題なので、このような機会があって良かったと思っています」「財産の管理は大変です。なかなか事例が起きなければ手を付けない人が多いと思います。現状では、エンディングノートを作っています」「人生 100 年時代 e×2000 万円なのか、5000 万円なのか。ライフスタイルをどうするかにかかっていると思う。健康で生活を楽しめるなら長寿もいいのかな。コロナでぽっくりは嫌ですね」

「いしかり市民カレッジ展」を市民図書館で開催しました！

3 月 13 日(土) から 26 日(金) までの 2 週間、石狩市民図書館で「カレッジ展」を行いました。市民カレッジの活動の様子を広く市民に知っていただくため毎年開催しています。令和 2 年度はコロナ禍の中で会場選定が困難でしたが、何とか開催することができました。

活動内容を紹介するパネルやポスター、講座風景の写真等を展示。また、令和 3 年度の講座一覧も展示し、訪れた市民の方からは好評をいただきました。



「かでる 2・7」9 階の情報交流広場で開催決定！

5/10(月)～5/26(金)

かでる 2・7(札幌市中央区北 2 条西 7 丁目 道民活動センタービル) 9 階の情報交流広場(まなびの広場)での「いしかり市民カレッジ展」開催が決まりました。このフロアには、道民カレッジ事務局もあり多くの生涯学習資料が集約されています。当カレッジの活動内容や今年度の講座を多くの道民に紹介します。

年度更新手続きのお願い “今年度もカレッジ生として仲間とともに学びに参加しましょう”

「いしかり市民カレッジ」は、生涯学習ボランティアと教育委員会が協働して手作りで講座を企画し、市民の皆様へ学習の場を提供して 13 年目になりました。カレッジ生登録者数も令和元年度には 210 名を超えましたが、昨年度はコロナ禍の自粛ムードの中で、150 名を割ってしまいました。今年度は、昨年度の経験を生かしてコロナ対策を講じ、全講座実施を目指します。どうぞ皆さまも更新手続きをして、学びの輪に加わっていただきますようお願い致します。(手続き方法は同封の「年度更新のお願い」に掲載しております)

ボランティアスタッフ(運営委員)を募集しています

自分で学びたい、他人にも学んで欲しい、そんな講座と一緒に作ってみませんか。
 いしかり市民カレッジの運営は、総務広報グループ(情報発信)と企画・事業グループ(講座の企画開催)とで役割分担しながら行っています。あなたの知恵や経験、特技を生かしてみませんか。
 あなたにふさわしい活動がきっとあります。ぜひ一緒に活動しましょう！



チョコっと
いしかり学

《15》

石狩遺産について (第3回)

知るほどに面白い「石狩遺産」

石狩遺産プロジェクトM会長 安田 秀司

今まで知らなかった地元のことを「初めて知る」ことに加え、「知ってるつもり」だった人が、より深く知ることで新たな感動を味わう、つまり「知るほどに面白くなる」のが石狩遺産です。

例えば石狩遺産6号の「石狩の油田」では構成資産を12件紹介していますが、まず、石狩市に「道内最大級の油田」が存在していたこと自体に誰もが驚きます。そして、興味がわいた方は「石狩油田」の現場を調べて見に行きます。高岡の奥の「五の沢林道」を入口から3キロほど上っていくと構成資産の「八の沢小学校校門」や「記念碑」などが現れ、さらに進むと「火気注意」の看板が立つ、石油が今も染み出して天然ガスがブクブク吹き出している現場を発見できます。それは探検気分の興奮体験でしょう。また、「伊夜日子神社跡」の標柱を見つけ、かつての街の存在を偲べますが、実はこの社は現在「五の沢神社」の社殿として移築され、今でもお参りできるのです。

さらに油田の成り立ちの原因となった「厚田層・盤の沢層・望来層」という3つの地層の露頭も紹介しており、山中の油田から遠く離れた石狩湾沿いの海食崖へも興味を誘います。また、かつて原油は「送油管」によって手稲の製油所を送られたことに着目し「送油管の残骸があるはず」と思って現地を見直すと、写真のようなものを発見できます。ぜひ、知るほどに面白い体験をしていただけたらと思います。※石狩遺産のパンフレットはホームページ(「石狩遺産プロジェクトM」)からダウンロードできます。



石狩の不思議～石狩川河口海岸に現れる ジュエリーアイス

森 幸二

ジュエリーアイスと聞けば十勝川の豊頃町が有名ですが、石狩でも観られることはご存じでしょうか。S47年に石狩河口橋ができる前は石狩川には渡船が活躍し、冬には氷橋の上を歩いていたというように、1月には石狩川は全面結氷します。

河口では割れてゆったりと流れ出した薄氷が日本海の荒波に揉まれ小さく砕け、軋みあう音がしんとした空気に響きます。その氷片が河口から離れて石狩海岸に漂着する頃には、波にもまれ角がとれ丸みのある様々な形となっています。晴れて凍れた朝がねらい目!! ユニークな姿が楽しませてくれます。(1月24日・2月12日撮影 天気予報に久しぶりの晴マークの揃った日に出かけました)



編集後記

* 望来にある桜の名所で渡り鳥〔ウソ〕の大群に桜の花芽が食べられて花が咲かない年がありました。それからは春先に掛けて猛禽類の鳴声で被害対策を講じ、満開の桜を咲かせる努力をしているそうです。
* 新型コロナ対策のワクチン接種も4月から始まるとのこと。一人一人が感染拡大防止のためマスク着用や手指消毒を徹底し体調を整えて、新たな講座へ皆様のご参加を心よりお待ちしております。

(TT)



■ 発行

いしかり市民カレッジ運営委員会
編集担当: 鈴木、石井、太齋、徳田、西

■ お問い合わせ 石狩市公民館

石狩市花川北6条1丁目42 TEL&FAX: 0133-74-2249
ホームページ [いしかり市民カレッジ](#) [検索](#)